

第124回

日本医史学会学術大会

医療と文化 — 文化的継承・異文化理解 —



会期：令和5年(2023) 6月3日(土)・4日(日)

会場：二松学舎大学九段1号館

会長：町泉寿郎

共催：二松学舎大学

後援：公益財団法人武田科学振興財団杏雨書屋

公益財団法人東洋文庫、東亜医学協会

第124回日本医史学会総会・学術大会
会長 町 泉 寿 郎



第124回日本医史学会総会・学術大会の会長を拝命した二松学舎大学の町泉寿郎です。会場となる二松学舎大学九段校舎1号館（東京都千代田区三番町6-16）は、漢学者三島中洲が明治10年10月10日に現在地に創設した漢学塾を起源とし、その後、第三代舎長渋沢栄一のもとで旧制専門学校となり、戦後は人文系の新制大学として歩んできました。

本学会がその前身である奨進医会を改組して1928年（昭和3）に日本医史学会となった時、初代理事長となった呉秀三先生（1865-1932）は明治13年10月1日に二松学舎に学ばれました。二代理事長入澤達吉先生（1865-1938）も三島中洲と漢詩の交流がありました。三代理事長富士川游先生（1865-1940）は大日本節酒会等で三島中洲としばしば顔を合わせています。三先生をはじめとする本学会の諸先達は弊学における日本医史学会の開催を必ずや喜んでくださるものと思います。

本学会は弊学にとって恐らくコロナ後初めての大規模な学会になると思います。感染状況に配慮し、また全国各地の会員諸氏に多く参加していただきたいと考えて、対面式とオンラインのハイブリッド開催と致します。

学術大会のテーマとして「医療と文化－文化的継承・異文化理解－」を掲げました。「文化的継承」の副題は日本において医師たちが文化の担い手として重要な意義をもったことに光を当てたいという思いから、「異文化理解」の副題は東アジアの伝統的な医療文化を再発見する機会としたいという思いからです。

第一日（6月3日）には、三笠宮彬子女王殿下、小曾戸洋先生（武田科学振興財団杏雨書屋副館長）、佐藤保先生（二松学舎大学元理事長・お茶の水女子大学元学長）による特別講演三題を企画しました。また丸山裕美子・岩間眞知子・稲松孝思の各先生によるシンポジウム「医療と文化」を開催します。

第二日（6月4日）には、ロバート・キャンベル先生による市民公開講演と、坂井建雄理事長による教育講演を企画しました。また、加藤茂孝・柳川鎌平・星野卓之・渡部幹夫の各先生による市民公開シンポジウムを開催します。

学会前後の時期に、会場の二松学舎大学に加え、大阪道修町の武田科学振興財団杏雨書屋と東京駒込の東洋文庫の三会場において記念展示を開催します。

6月に二松学舎大学で、皆さまにお目にかかれることを楽しみにしております。

日程表

6月2日(金)

17:00~18:00	社員総会(二松学舎大学九段校舎1号館201教室)
18:30~20:00	役員懇親会(新世界菜館)

第1日 6月3日(土)

	A会場(B2 中洲記念講堂)	B会場(2階 201教室)
9:10~10:10	一般演題 第1~4席 座長:坂井建雄	一般演題 第20~23席 座長:真柳 誠
10:10~11:10	一般演題 第5~8席 座長:永島 剛	一般演題 第24~27席 座長:鈴木達彦
11:10~12:10	一般演題 第9~12席 座長:柳澤波香	一般演題 第28~31席 座長:中澤 淳
12:10~12:40	総会・写真撮影	
12:40~13:30	昼 食	
13:30~14:15	特別講演Ⅰ 座長:町泉寿郎	
14:15~15:00	特別講演Ⅱ 座長:松田隆秀	シンポジウム「医療と文化」 座長:町泉寿郎
15:00~15:45	特別講演Ⅲ 座長:小山聡子	
15:45~16:45	一般演題 第13~16席 座長:志村俊郎	一般演題 第32~34席 座長:長野 仁
16:45~17:30	一般演題 第17~19席 座長:園田真也	一般演題 第35~37席 座長:百瀬 祐
18:00~20:00	会員懇親会(私学会館アルカディア)	

第2日 6月4日(日)

	A会場(B2 中洲記念講堂)	B会場(2階 201教室)
9:00~10:00	一般演題 第38~41席 座長:青木歳幸	一般演題 第50~53席 座長:吉川澄美
10:00~11:00	一般演題 第42~45席 座長:逢見憲一	一般演題 第54~57席 座長:土手健太郎
11:00~12:00	一般演題 第46~49席 座長:山内一信	一般演題 第58~61席 座長:川島真人
12:00~13:00	昼 食	
13:00~13:45	市民公開講演 座長:岩間眞知子	
13:45~14:30	教育講演 座長:勝井恵子	
14:30~15:50	市民公開シンポジウム 座長:渡部幹夫	
15:50~16:00	次期会長挨拶・閉会	

第1日
6月3日(土)

A会場 中洲記念講堂

8:30 受付～

9:00 開会挨拶

9:10～10:10 Session1A 1 一般演題 第1～4席 座長：坂井建雄

- 1 新約聖書における先天盲開眼奇跡とモリヌークス問題 …………… 溝田悟士
- 2 オリバシオス『医学集成』におけるガレノス医学の受容 …………… 福島正幸
- 3 偽ガレノス『諸器官の裨益について』：アラビア語文献との比較から …………… 矢口直英
- 4 『医学自然学報』と『コペンハーゲンの医学・哲学紀要』の比較 …………… 安西なつめ

10:10～11:10 Session1A 2 一般演題 第5～8席 座長：永島剛

- 5 18世紀ロンドンにおける解剖学私塾の興り
—ウイリアム・ハンター解剖学校設立の背景— …………… 土屋江里子
- 6 アデンプルック病院の創設と発展 …………… 柳澤波香
- 7 ルイの瀉血研究はどのように評価されてきたか 没後150年間の変遷 …………… 根木 翼
- 8 膀胱腫瘍に対する修復手術の
歴史とこの領域におけるJ.M. Simsの評価 …………… 竹内 薫

11:10～12:10 Session1A 3 一般演題 第9～12席 座長：柳澤波香

- 9 医学史的観点から理解する精神神経学用語語源 …………… 杉田克生
- 10 グットマン報告を精査する：
1890～91年ドイツの「ツベルクリン」臨床実験 …………… 月澤美代子
- 11 Constantin von Economoと嗜眠性脳炎 …………… 伊藤泰広
- 12 国際麻酔科学史シンポジウム 第10回大会を開催して …………… 牧野 洋

12:10～12:40 会員総会 (記念撮影)

昼 食

13:30~14:15 特別講演 I

座長：町泉寿郎

海軍省お雇い医師ウィリアム・アンダーソンが日本に残したもの
 —医学と美術史、そして… …… 三笠宮彬子女王

14:15~15:00 特別講演 II

座長：松田隆秀

福井崇蘭館の古医学書 …… 小曾戸洋

15:00~15:45 特別講演 III

座長：小山聡子

入澤達吉の詩文 …… 佐藤 保

15:45~16:45 Session1A 4 一般演題 第13~16席

座長：志村俊郎

- 13 ポンペの臨床検査学と
 臨床講義の原典は科学的医学雑誌Kliniekである …… 相川忠臣
- 14 ウィリアム・アンダーソン『看病要法』(明治12年)にみる
 病人のための西洋料理法 …… 平尾真智子
- 15 日本における検眼鏡導入・開発経過 …… 園田真也
- 16 明治時代のドイツ留学生 —前田令太郎の写真帳より— …… 高際麻奈未

16:45~17:30 Session1A 5 一般演題 第17~19席

座長：園田真也

- 17 明治の文豪の作品中に見られた日本医科大学前身の済生学舎 …… 志村俊郎
- 18 生物学者 津田梅子：津田塾大学創設者の自然科学者としての側面 …… 佐藤 裕
- 19 親子二代のアショッフ教授と北大医学部の世紀を超えた交流
 ~開講100周年にあたって~ …… 鈴木重統

B会場**201教室****9:10~10:10 Session1B 1 一般演題 第20~23席**

座長：真柳 誠

- 20 張家山『算数書』「医」にみる医者の評価 —周礼医師との関係— …… 猪飼祥夫
- 21 鬼子の誕生と怪異 —日本古代を中心として …… 小山聡子
- 22 曲直瀬道三『切紙』の原型と
 内藤記念くすり博物館所蔵『家傳記』について …… 鈴木達彦
- 23 『艶本房術龍之巻』について …… 永塚憲治

10:10~11:10 Session1B 2 一般演題 第24~27席 座長：鈴木達彦

- 24 表形式による基本漢方の薬味加減法の覚え方
—富士川文庫『短要方』の例— …………… 吉川澄美
- 25 朝鮮人参ブームへの批判 —香川修庵の『一本堂薬選』を中心に …………… 向 静静
- 26 南木龍江の医学思想 …………… 西巻明彦
- 27 合田強の『賀川玄悦先生産書』の写本について …………… 板野俊文

11:10~12:10 Session1B 3 一般演題 第28~31席 座長：中澤 淳

- 28 中根東里を佐野に招聘した
医師・金束信甫(思順)著の新出史料『反治解』について …………… 松木宣嘉
- 29 上州の種痘再考 …………… 青木歳幸
- 30 呉秀三の漢詩文 …………… 町泉寿郎
- 31 旧庄内藩末裔の3医師 …………… 黒羽根洋司

14:20~15:40 シンポジウム 「医療と文化」 座長：町泉寿郎

- 趣旨説明 …………… 町泉寿郎
- 遣唐使のもたらした医療と文化 …………… 丸山裕美子
- 医療と茶文化 …………… 岩間眞知子
- 渋沢栄一の医療と文化に対する貢献 …………… 稲松孝思

15:45~16:30 Session1B 4 一般演題 第32~34席 座長：長野 仁

- 32 杏雨書屋常設展示「流行り病を乗り越えて」 …………… 百瀬 祐
- 33 杏雨書屋と所蔵資料(2016年以降 新収資料) …………… 瓢野由美子
- 34 東洋文庫所蔵『重修政和經史証類備用本草』について …………… 清水信子

16:30~17:15 Session1B 5 一般演題 第35~37席 座長：百瀬 祐

- 35 近世日本における華佗像 …………… 伊 丹
- 36 京都府北部に眠る医学史料
—太田典禮および新宮涼庭ゆかりの史料群— …………… 島山奈緒子
- 37 山崎佐による第二次世界大戦期の日本医学史記述について …………… 渡部幹夫

会員懇親会(私学会館アルカディア) 18:00~

第2日
6月4日(日)

A会場 中洲記念講堂

9:00~10:00 Session2A 1 一般演題 第38~41席 座長：青木歳幸

- 38 明治期、鍼灸師の居た所……………柴田泰治
- 39 明治9年新川県医師の就学履歴と医療環境……………海原 亮
- 40 1877(明治10)年横浜コレラ流行の疫学地図
—日本初の疫学地図か?—……………逢見憲一
- 41 地域医療から見た避病院・隔離病舎について……………木下 浩

10:00~11:00 Session2A 2 一般演題 第42~45席 座長：逢見憲一

- 42 パンデミック感染下の先端医療と医療者の罹患体験
—Cushingの事績をたどって……………柳澤隆昭
- 43 大正期の歯科教育改革に影響を及ぼした女子学生運動(第2報)……………永藤欣久
- 44 流行病にみる近代衛生学の発展……………山口静子
- 45 戦後日本の衛生教育に関する研究
—滋賀秀俊『公衆衛生教育便覧』の検討を中心に—……………田中誠二

11:00~12:00 Session2A 3 一般演題 第46~49席 座長：山内一信

- 46 アメリカ占領下沖縄の優生立法 —優生保護法の廃止とその背景—……………橋本 明
- 47 ポリオ集団予防接種の政治的決断を
人間の安全保障の視座から分析する……………中村安秀
- 48 カルテの保存はいかにあるべきか
—カルテの学術・史料的价值についての考察……………小島光洋
- 49 1953年陳情の精神衛生統計面の背景……………岡田靖雄

昼 食

13:00~13:45 市民公開講演

座長：岩間眞知子

日本文学における病……………ロバート・キャンベル

13:45~14:30 教育講演

座長：勝井恵子

『医学史事典』が語る医史学の世界……………坂井建雄

14:30~15:50 市民公開シンポジウム 「歴史から学ぶ感染症への視点」

座長：渡部幹夫

趣旨説明……………渡部幹夫
感染症の歴史からの学びに、更に加える視点……………加藤茂孝
戦争と感染症……………柳川錬平
流行病と養生に役立つ漢方……………星野卓之

15:50~

次期大会会長挨拶……………瀧澤利行
閉会挨拶

B会場

201教室

9:00~10:00 Session2B 1 一般演題 第50~53席

座長：吉川澄美

- 50 林羅山の本草書受容について……………武田祐樹
51 儒医としての山縣大貳……………今井悠人
52 紅葉山文庫書物奉行・深見有隣の事績……………今井 秀
53 華岡流の繁栄と衰退……………土手健太郎

10:00~11:00 Session2B 2 一般演題 第54~57席

座長：土手健太郎

- 54 『解体新書』の扉絵のアダム、イブ像の淵源……………澤井 直
55 国立科学博物館所蔵の『遠西医範』の一写本について……………西嶋佑太郎
56 『遠西医方名物考』『刺賢埜児』にみる「精油」……………佐藤真奈美
57 新出の『揆穴輯要』について……………加畑聡子

- 58 『櫟窓医臚』から『医臚』へ
—刊本『医臚』の成立と多紀元簡の考証学を中心に— …………… 景 徳
- 59 松崎慊堂の儒者・医者との交遊 …………… 郭秀梅
- 60 福沢諭吉の思想形成と医学 —その文明論との関連— …………… 都倉武之
- 61 海外の医学史博物館の活動
—台湾の高雄醫學大學「高醫校史暨醫學人文館」の展示方針— …………… 蕭惻惻

誌上発表

- 62 七表八裏九道における数脈の位置 …………… 中川俊之
- 63 『小学紺珠』にみえる医経の引用について …………… 橋本典子
- 64 永嘉医派について …………… 水溜亮一
- 65 研医会図書館所蔵24冊本『黄帝内経太素』の報告 その2 …………… 安部郁子
- 66 江戸時代の五行色体 …………… 木場由衣登
- 67 長富恵淑「天柱居記」試論
—被伝者・長富升庵は独嘯庵に他ならず— …………… 亀田一邦
- 68 中島友玄『鍼灸施治姓名』にみる症状と経穴 …………… ヴィグル・マティアス
- 69 旅病人と八幡八町の町方医師 …………… 森永正文
- 70 華岡青洲・吉益南涯編「陰症百問」の成立に関する研究 …………… 松木明知
- 71 シーボルトの「盲目のミカド」第一幕草稿について …………… 由比文顕
- 72 幕末・明治前期来日フランス人医師の動植物研究
—動植物環境馴化協会での活動— …………… 須長泰一
- 73 NHK朝ドラ『らんまん』の牧野富太郎と伊藤圭介 …………… 吉村美香
- 74 北里柴三郎が郷里熊本で再出発を誓った二つの書 …………… 松崎範子
- 75 清国兵俘虜の体格検査に関する一考察(1) …………… 秋田博孝
- 76 第二次世界大戦後の台湾の寄生虫対策と日本の国際協力 …………… 容 世明

参加者への ご案内

1. 参加受付

日時：6月3日（土）8：30～17：30

6月4日（日）8：30～12：00

場所：二松学舎大学九段校舎1号館B2中洲記念講堂前ホール

※事前参加申し込みをいただいた方には、電子メールにて領収書と名札が発送されています。名札は参加登録済の証明として、学会当日に必ずご持参ください。

2. 参加費など ※②～④は希望者のみ

※当日は現金受付のみとなります。事前参加申し込みは日本医史学会HPから行ってください。

①学会参加費：一般8,000円（学生会員4,000円）

②会員懇親会：8,000円

③記念写真代：1,000円

④お弁当代 各日お茶付き1,000円

※お弁当は事前申し込みいただいた方に限ります。

3. 社員総会

日時：6月2日（金）17：00～

会場：二松学舎大学九段校舎1号館2階201教室

※終了後、18：30～役員懇親会

（新世界菜館 〒101-0051千代田区神田神保町2-2 ☎03-3261-4957）

4. 会員懇親会

日時：6月3日（土）18：00～20：00

会場：私学会館アルカディア市ヶ谷（会場から徒歩12分）

〒102-0073東京都千代田区九段北4-2-25

TEL：03-3261-9921（代）

5. 昼食場所

昼食会場として202教室をご利用ください。

座長・発表者へのご案内

1. 座長の方へ

- ①担当セッション開始予定時刻の15分前までに、会場内前方の次座長関にご着席下さい。
- ②時間延長は学会全体の進行に影響しますので、時間厳守にて進行をお願いいたします。(時間の計測は発表のみとなりますので、質疑については時間調整をお願いいたします。)

2. 演者の方へ

- ①一般演題の口演時間は10分、質疑応答5分です。
- ②口演開始9分で1鈴を鳴らします。10分の2鈴で終了するようにしてください。時間厳守をお願いいたします。
- ③演者は、口演の開始・終了など、座長の指示に従ってください。
- ④演者は自演題の2題前には会場に入り、次演者は次演者席で待機してください。
- ⑤当日、配布資料がある場合は、120部程度ご用意願います。
配布後の残部は、会場入口に演題順に配置致します。
口演終了後の残部は各自の責任で回収してください。

3. 発表データについて

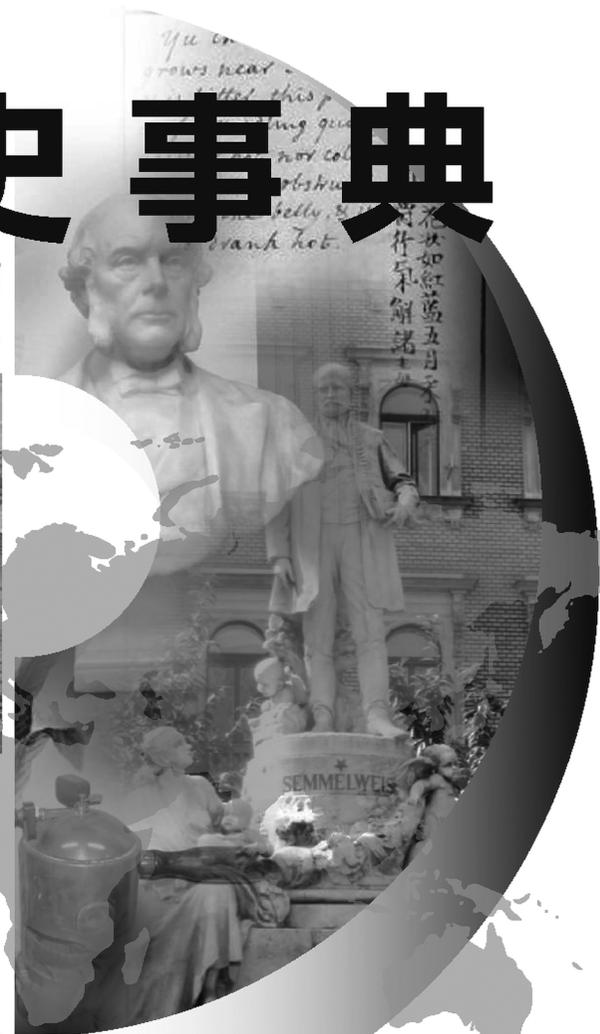
- ①今回、発表データの受付は当日受付のみとなります。
ご発表の60分前(朝一番のセッションは30分前)までに、総合受付(B2中洲記念講堂前ホール)附近のPC受付にて、データ受付を行っていただくようお願いいたします。
- ②発表データはPowerPointで作成してください。
※「発表者ツール」は使用できません。発表原稿は各自ご準備ください。
- ③作成したデータは、USBフラッシュメモリでご持参ください。
- ④文字化け等が不安な方は、PDFに変換したファイルも併せてご用意ください。
- ⑤PC本体の持ち込みによる発表は、原則としてできません。

日本医史学会設立95周年記念出版

医学史事典

日本医史学会 編

A5判・768頁 定価28,600円(本体26,000円+税10%)
ISBN978-4-621-30724-3



編集委員一覧

【編集委員長】

坂井 建雄 順天堂大学保健医療学部・日本医史学会理事長

【副編集委員長】

小曾戸 洋 北里大学東洋医学総合研究所・東京薬科大学・日本医史学会前理事長

【編集幹事】

澤井 直 順天堂大学医学部

真柳 誠 茨城大学名誉教授

渡部 幹夫 順天堂大学医療看護学部

永島 剛 専修大学経済学部

【編集委員】

柳澤 波香 津田塾大学文学部兼任講師

矢口 直英 東京大学大学院人文社会系研究科特任研究員

山内 一信 東員病院認知症疾患医療センター

佐藤 裕 九州大学医学歴史館

青木 歳幸 佐賀大学特命教授・元地域学歴史文化研究センター長

中村 安秀 日本WHO協会

柳川 隼平 順天堂大学医学部協力研究員

藤川 和花 専修大学文学部

高林 陽展 立教大学文学部



最新情報・詳細は
こちらから→
丸善出版ホームページへ

丸善出版

◆電子書籍のお求めはこちらから



「近代日本漢学」という学問領域の構築を目指す

講座 近代日本と漢学

漢籍から儒教や仏教等の思考や文化・知識を学び、習得しようとする学問「漢学」が、近代の西洋化の中で解体・再編される過程を通時的・多面的に検証することで、日本の近代化の特色や問題点を浮き彫りにする。

第1巻 漢学という視座

〈編者〉 牧角悦子
町泉寿郎

258頁／3,080円 (税込)

第2巻 漢学と漢学塾

〈編者〉 江藤茂博
町泉寿郎

295頁／3,300円 (税込)

第4巻 漢学と学芸

〈編者〉 牧角悦子
町泉寿郎

253頁／3,080円 (税込)

第5巻 漢学と教育

〈編者〉 江藤茂博
加藤国安

262頁／3,080円 (税込)

第6巻 漢学と近代文学

〈編者〉 山口直孝

301頁／3,300円 (税込)

第7巻 漢学と日本語

〈編者〉 小方伴子
佐藤進

269頁／3,300円 (税込)

第8巻 漢学と東アジア

〈編者〉 江藤茂博

335頁／3,520円 (税込)



〈全8巻〉 A5判 / 並製

第3巻 漢学と医学

〈編者〉 町泉寿郎

284頁／3,300円 (税込)

漢学と医学との関係を取り上げ、漢方医学から西洋医学への転換期における日本の医学の多様な諸相とその歴史的推移の解明を目指し、漢蘭折衷医学の「学び」の実態解明や蘭学・洋学と政治・社会の関係といった様々な問題を論じる。

第1部 近世近代の「学び」

第一章 日本近世社会における医学の「学び」 町泉寿郎

第二章 華岡流外科術の普及と近代医学 梶谷光弘

第三章 江戸時代経穴学にみる考証と折衷
——小坂元祐と山崎宗運を事例に—— 加畑聡子

第2部 西洋医学知識の普及

第一章 一八世紀から一九世紀のヨーロッパにおける
医学の変革、日本との関わり 坂井建雄

第二章 舶載医学蘭書小考 吉田忠

第三章 ベンジャミン・ホブソン著『全體新論』の持つ意味 中村聡

第3部 医学医療文化史

第一章 江戸時代の和算塾の様相 佐藤賢一

第二章 医者と漢詩文——江戸後期から明治期を中心に—— 合山林太郎

第三章 近世後期における地方医家の学問修業
——吉益塾に学んだ人々から—— 清水信子

第4部 医学医療制度

第一章 宗伯と漢方存続運動 渡辺浩二

第二章 医学校の近代化——岡山藩医学館—— 松村紀明

第三章 近代日本薬学の形成 小曾戸洋

〔研究の窓〕

女訓書と医学知識啓蒙 ヤング、W・エヴァン

福澤諭吉の科学啓蒙 武田時昌

清医と幕府医官の筆談について——清医胡兆新「問答」『筆語』 郭秀梅

満洲医科大学について 川邊雄大

戎光祥出版

〒102-0083 <https://www.ebisukosyo.co.jp>
東京都千代田区麹町1-7 相互半蔵門ビル8F

TEL : 03-5275-3361
FAX : 03-5275-3365

前近代日本の病氣治療と呪術

小山聡子 編

人間にとって、病との闘いは永遠のテーマである。それゆえ、病への対処法には、その時代の人々の信仰や思想、世界観が如実に表れる。前近代では、病氣の原因は神やモノノケ等、霊的なものに求められ、その治療は宗教者の呪術に任されていた。僧侶や陰陽師らの行った呪術による病氣治療の実態とその全体像を、古代から近世まで多角的に論じることで、それぞれの時代に生きた人々の精神世界に迫る。

【現在品切】
定価 八、八〇〇円(税込)



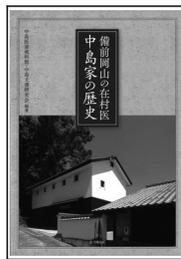
備前岡山の在村医

中島家の歴史

中島医家資料館・中島文書研究会 編著

江戸時代中期より続く在村医家に残る貴重な書籍・古文書・器物類の解説・分析を通して、当家庭代の生涯、研究論文9篇、史料翻刻5篇、蔵書目録および年表を収録。中島家の医業の歩みに光を当てる一書。

定価 一一、〇〇〇円(税込)



究理堂所蔵

京都小石家来簡集

小石家文書研究会 編

江戸時代後期の京都医界を主導した小石家の私塾・究理堂。本書では小石家究理堂が現在所蔵する医者・蘭学者による書簡を選んで影印・翻刻を収録。さらに史料に内在する論点を深めた論考も収め、小石家歴代の交友関係と旺盛な学事交流の実態を浮かび上がらせる。

定価 一五、八四〇円(税込)



洋学史研究事典

洋学史学会監修

【第34回矢数医史学賞受賞】

青木歳幸、海原亮、沓澤宣賢、佐藤賢一、松方冬子、イサベル・田中・ファンダーレン編

洋学史学会30周年記念出版。
グローバルな社会における洋学史研究の成果を盛り込んだ最新の研究事典。地方誌類の編纂事業や地域史研究の隆盛を踏まえ、全国各地に蓄積された洋学史の研究成果を収録。

研究篇(グローバル)と地域篇(ローカル)、ふたつの視座からの複眼的な編集。各項目は1頁もしくは2頁で構成され、簡潔に研究情報を把握できる。各項目末には参考文献を収録。

歴史研究を志す若い研究者はもとより、洋学史に関心・かかわりのあるすべての方へ、これからの研究の指針となる必備の書。

【内容目次】

総論 洋学史研究試探

◆研究篇◆

I 洋学の社会的基盤(四〇項目)

II 支えた人びと(二〇項目)

III 影響を与えたモノ(三六項目)

IV 普及した書物(二八項目)

V 研究教育の場(二一項目)

VI 近世学芸から近代学術へ(三六項目)

◆地域篇◆

○四七都道府県別に構成し、その地域独自の洋学史の特色を掘り起こす(一九六項目)。

○洋学関係史跡、地域洋学史研究の先端を担う施設・博物館(洋学コレクションなど)を紹介。

◆付録「洋学関係資料所在目録」(一一三件)

定価 一四、三〇〇円(税込)

自費出版の「案内」

思文閣出版の自費出版レーベル「Shibunkaku Works」
思文閣出版が培った学術書制作のノウハウを活かして、ご研究の書籍化をお手伝いいたします。詳細は小社までお問い合わせください。

◎岩瀬文庫蔵本を影印・翻刻——「本草和名」の歴史的国語学的意義を明らかにす

本草和名——影印・翻刻と研究——

丸山裕美子・武 倩 編著 ▼A5判・614頁・14300円

序章——西尾市岩瀬文庫所蔵『本草和名』解題

第I部 影印 凡例 上巻・下巻 第II部 翻刻 凡例 上巻・下巻

第III部 研究

第一章 敦煌写本本草書と古代日本の本草書——「本草和名」の歴史的意義——

第二章 「本草和名」の諸本／第三章 『本草和名』と「倭名類聚抄」

第IV部 補論

第一章 延喜典藥式「諸国年料雜藥制」の成立と『出雲国風土記』

第二章 北宋天聖令による唐日医疾令の復原試案

第三章 唐医疾令復原の再検討／日本医疾令復原の再検討

唐医疾令断簡(大谷三三一七)の発見と日本医疾令

——劉子凡・大谷文書唐《医疾令》《喪葬令》残片研究——を受けて

唐医疾令断簡(大谷三三一七)による条文排列の訂正

唐医疾令断簡(大谷三三一七)による日本医疾令の復原と条文排列

索引 和名索引・薬名索引・書名索引・あとがき(付・担当、初出一覧)

第V部

◎二松学舎大学東アジア学術総合研究所日本漢学研究センター／日本漢学研究叢刊2

近世・近代期筆談記録が語る

東アジアの医学・学术交流

ヴィゲル・マテイアス 編 ▼A5判・292頁・7700円

第I部 知識人の国際移動による医学・学术交流

第一章 近世期東アジアにおける知識層医師の移動の意義・ヴィゲルマテイアス

第二章 筆談と近世東アジアの薬物知識の交流・陳 明

第三章 『登朝鮮医問』と朝鮮通信使の医学交流・成 畧植

第四章 清医趙澗陽と日本医師の交流記録などについて・郭 秀梅

第五章 明治漢方医家と清末文人の筆談・町 泉寿郎

第六章 近世幕薩琉清の交流ルート再考・沈 玉慧

第七章 通信使の筆談と大陸情報収集・程 永超

第II部 医学関係の筆談記録

史料(1)『朝鮮人筆談』(解説・翻刻)／史料(2)『朝鮮筆談』(解説・翻刻)／

索引／著者紹介

◎薬都富山の教育と図書成り立ちをその蔵書からたどる！

薬の都富山の漢籍と漢学

磯部彰著 ▼A5判・カラー口絵24頁・384頁・13200円

はじめに

戦国大名と漢籍和書の関係めぐって／富山藩の学問所広徳館と蔵書研究の

目的と意義／富山藩広徳館をめぐる研究の流れ／本書の内容とその手順

第一章 富山藩の始まりと学問

初代藩主前田利次の家格意識と名物／調度品としての書籍と御成／前田正甫と

將軍徳川綱吉の儒学時代

第二章 富山藩の藩校広徳館の設置とその沿革

藩校広徳館の設置／広徳館と歴代藩主の係わり

第三章 広徳館の設置場所

古地図で見る初期広徳館の位置／富山城三之丸時代の広徳館

第四章 広徳館の教育と組織

学校組織としての広徳館の規定／広徳館の教育内容

第五章 富山藩下の出版文化と広徳館の出版物

江戸後期における富山城下の雕版と印刷／富山藩と広徳館の出版物

第六章 広徳館の名物教授と漢学

前田利与時代の儒学者と漢詩／前田利幹・利保時代の儒学者と漢詩

第七章 広徳館蔵書の行方

広徳館時代の書籍目録／国会図書館に残る藩校の蔵書／富山県内に残る藩学

校旧蔵書／蔵書印に見る藩学校蔵書の移動

新史料と解説

資料所蔵先一覧／あとがき／人名・書名索引

第28回矢数医史学賞受賞

黄帝医籍研究

真柳誠著 ▼A5判・640頁・6600円

序説 黄帝医籍

第一章『素問』／第二章『針経』と『靈枢』／第三章『難経』概説

第四章『甲乙经』／第五章『太素』／第六章『明堂』

付 所出文献関連年表／後 記／書名・人名・事項索引

〒101-0065 東京都千代田区西神田2-4-3 高岡ビル4F
TEL03-3265-9764 FAX03-3222-1845

汲古書院

http://www.kyuko.asia/ (税込)
E-mail:kyuko@fancy.ocn.ne.jp

昭和29(1954)年創刊
漢方医学の本質・真髓が身に付く漢方総合専門誌

月刊『漢方の臨床』

詳細は下記ホームページをご覧ください。

東亜医学協会は昭和13(1938)年、大塚敬節・矢数道明ら青年漢方医師が漢方医学の振興を目的に流派を超えて大同団結し、発足いたしました。現在、機関誌『漢方の臨床』は充実した論文誌として評価されています。

- * 漢方医学・和漢薬・医史の論説、臨床報告、基礎報告、古典解釈などを収録。
- * 年会費 10,000 円 (入会金不要)。
年 12 回。毎月発送。
- * 会員は投稿ができます。

入会申込フォーム

ホームページ：<https://aeam.jp/>



創刊号



◆◆ お申込み・お問い合わせ ◆◆

東亜医学協会

〒101-0065 東京都千代田区西神田 2-7-4

☎ 03-3264-8410 FAX 03-3265-5995

E-mail : domei-toa@nifty.com

おかげさまで110周年
110th
ANNIVERSARY
KYUSHIN

どうき・息切れ・気づけに



救心 第2類医薬品

原因は加齢、
ストレスや睡眠不足、
自律神経の
バランスの乱れなど様々。
救心は全身の
血液循環を改善し、
自律神経の
バランスを整えて、
どうきや息切れに
すぐれた効果を発揮します。



なんだろう？ このドキドキ…



救心製薬株式会社 〒166-8533
東京都杉並区和田1-21-7

【製品についてのお問い合わせ先】 救心製薬お客様相談室
☎03-6861-9494 【受付時間】9:00~17:00(土、日、祝日、弊社休業日を除く)

あじあ
ブックス

Kosoto Hiroshi

小曾戸 洋<著>

●四六判・288頁 定価2,640円(税込)

中国伝統医学 名医・名著小百科

好評の「あじあブックス」『新版 漢方の歴史』『針灸の歴史』に続く、東洋医学の基本図書第3弾。中国医学史上の重要な人物333名・医書47冊の情報を時代別に配列したコンパクトなレファレンスブック。漢方・鍼灸を学ぶ人のために、日本との関連についても記述した。人名・書名索引付。



- 【主要目次】〈人物編〉
- 太古／春秋戦国
 - 伏羲、神農、赤松子、黄帝……／前漢・後漢・三国・六朝公乘陽慶、倉公、郭玉……／隋・唐・元方、許胤宗……／北宋王懷隱、王惟一、王象……／南宋莊綽、劉昉……／南朝正……／金・元成無己、劉完素、張元素……／明劉純、許弘、朱橚、徐鳳……／清程應旂、張登、張倬、沈自南……／近代丁甘仁、廖平、張錫純……
 - 〈書籍編〉漢漢書藝文志・方技、馬王堆醫書、神農本草經……／三国・六朝脈經、甲乙經、肘後備急方、小品方／隋・唐諸病源候論、千金方、千金翼方、新修本草……／宋太平聖惠方、銅人臉穴針灸図経……／金・元素問玄機原病式、儒門事親、十四經發揮……／明玉機微義、醫書大全、本草品彙精要……／清溫疫論、醫宗金鑑
 - コラム「杏の林」ほか3本



大修館書店

お求めは書店または小社HPへ。詳しい情報はこちら▶

あじあ
ブックス

Kosoto Hiroshi

小曾戸 洋<著>

●四六判・264頁 定価1,870円(税込)

新版 漢方の歴史 中国・日本の伝統医学

新知見を大幅に
増補した待望の改訂版!

中国で生まれ、日本に入って独自の発展をげた漢方の通史。好評のロングセラーが初版刊行から15年の時を経て、待望のリニューアル。新知見を大幅に盛り込み、図版を増やし、また、新たに漢方関連年表と、主な生薬の来歴を事典形式にまとめた「和漢薬の来歴」を付し、さらに充実した内容となっている。



【主要目次】

- 第一章 中国医学の形成
- 第二章 よみがえる古代医学の遺物
- 第三章 神農伝説と「神農本草経」
- 第四章 「黄帝内经」と陰陽五行説
- 第五章 張仲景の医学
- 第六章 六朝隋唐医学と日本
- 第七章 宋の医学と日本
- 第八章 金元明清の医学と日本
- 第九章 江戸時代の医学
- 第十章 日本から中国へ
- 付録 漢方関連年表、和漢薬の来歴 他

大修館書店

お求めは書店または小社HPへ。

あじあ
ブックス

お茶は薬だった！
茶はどう
飲まれてきたか

岩間真知子〈著〉

喫茶の歴史

茶葉同源をさぐる

古来より茶は薬だった。理想の古帝王「神農」が、毒にあたって茶で解毒したのは本当か。宋西はなぜ『喫茶養生記』で茶と桑による養生法を書いたのか。古代から近世まで医薬書や各種史料を渉猟し、中国と日本の茶の交流史を明らかにしつつ、茶の効能と歴史を追う。

【主要目次】第一章 茶葉同源をさぐる／第二章 中国 漢代から魏晉南北朝／第三章 中国 唐代／第四章 日本 喫茶の始まりから平安時代まで／第五章 中国 宋代 第六章 日本 鎌倉室町 安土桃山時代／第七章 中国 金元元代 第八章 中国 明代／第九章 中国 清代／第十章 日本 江戸時代



●四六判 296頁
定価2200円(税込)

大修館書店

お求めは書店または小社HPへ。

格致餘論注釈

朱震亨著『格致餘論』に詳細な注釈を施し、全文を日本語訳！！

長谷部英一／秦玲子／上村元順／
松下道信／恩田裕正 著

A5判／上製／264頁／本体 3,500円＋税(送料別)
ISBN 9784900600065

観聚方要補 安政版

日本漢方処方集の規矩！
江戸医学館による医書考証学の精華！

- ・3,160 処方を 74 病門に類別して収録。文政 2 年刊本を大幅に補訂。
- ・解説・処方名索引を付し、待望の影印初刊行。
- ・現代漢方処方の出典を再検討する必須の資料。

B5判／上製／384頁／本体 5,000円＋税(送料別)
ISBN 9784900600041

漢方開眼 わが師・藤平健先生

藤平健の漢方開眼の過程、千葉古方派の形成が解き明かされる

【目次】藤平先生とその時代／自叙伝による考察／木村雄二郎先生のこと／鮎川静先生のこと／和田正系先生のこと／長濱善夫先生のこと／奥田謙蔵先生のこと／奥門会と千葉古方派の形成／伊藤清夫先生のこと／小倉重成先生のこと／伊東彌恵治先生のこと／おわりに／附録資料

寺澤捷男 著 四六判／上製／176頁／本体 1,200円＋税(送料別)
ISBN 9784900600072

腹診のエビデンス 江戸版

近代資料による前作に対し、江戸時代の書籍から腹診に関する記載をまとめた。腹診の源流を求めることができる力作！

前作『腹診のエビデンス—保険収載漢方処方—』（第2版）発売中

並木隆雄 監修 鈴木達彦 編集

A4判／並製／140頁／本体 3,500円＋税(送料別)
ISBN 9784900600089

◆お申し込み・お問い合わせ◆ 医 聖 社 〒101-0065 東京都千代田区西神田 2-7-4 島崎ビル
TEL 03-3264-8639 FAX 03-3265-5995 e-mail iseisya@nifty.com

東洋の医・健・美（仮）

2023年5月31日（水）～9月18日（月・祝）

本展では、古来アジアの人々がどのように、不調や怪我、病気と向き合ってきたのかを、東洋文庫が所蔵する、医療史の名著でたどります。この企画展が、あなたの知的好奇心を満たす、サプリメントのようになれば嬉しいです。



展示室 モリソン書庫

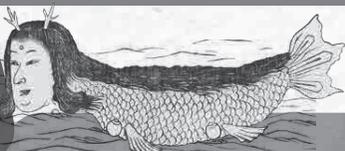


元滑寿撰 明薛鑑校『十四經發揮』
1604（慶長9）年

会場 東洋文庫ミュージアム
主催 (公財) 東洋文庫
共催 第124回日本医史学会大会
住所 113-0021 東京都文京区本駒込2-28-21
電話 03-3942-0280
入館料 900円（一般）・800円（65歳以上）・700円（大学生以上）
600円（高校生）・中学生以下無料
アクセス JR・東京メトロ南北線「駒込駅」から徒歩8分
都営地下鉄三田線「千石駅」から徒歩7分
都営バス上58系統・茶51系統「上富士前」から徒歩1分
二松学舎大学からのアクセス 東京メトロ南北線「飯田橋」―「駒込」
休館日 毎週火曜日 その他、臨時に開館・休館することがあります。
開館時間 10：00～17：00（入館は16：30まで）

痘瘡、麻疹、コレラなどの流行り病に関する歴史的資料約40点を展示します。

コレラの流行を
予言した!?
予言獣「姫魚」



姫魚は江戸時代から伝わる日本の妖怪で、二本の角を持つ女の顔に魚体が結びついた姿をしています。豊作や疫病の流行などを予言し、厄除けの方法を伝える予言獣の一種です。

《常設展示テーマ》

流行り病 を 乗り越えて

公開中

入場
無料

コレラ、麻疹の
疫病神を
撃退!

米8匁、黒豆18粒を粥に入れて食べると、家にコレラが入らないとされました。

赤は
魔除けの色
だった!?

江戸時代に痘瘡(天然痘)が流行した際、魔除けの色とされてきた赤色で摺った絵が出回りました。

麻疹が大流行した江戸時代。

浮世絵師によって描かれた錦絵には、麻疹の予防や心得、

食べて良いもの悪いものなどが書き添えられました。

庶民の情報源であり娯楽でもあった麻疹絵。

当時の麻疹絵を見れば現代の三密回避や外出自粛に通ずる

こともあり幾多の困難を乗り越えた様子が伺えます。



疫病退散!
麻疹童子 vs 酒屋 屋形船連合

桶を
かぶせる!?
変なおまじない



馬の銅葉桶を被ると麻疹に罹らない、あるいは軽く済むというまじないの一つ。特に浅草寺の神馬のものが良いとされました。



麻疹流行時に
食べて良いもの悪いもの
ランキング!

公益財団法人 杏雨書屋
武田科学振興財団

常設展示

「流行り病を乗り越えて」開催にあたり

2019年末から始まった新型コロナウイルス感染症は、2年あまりを経た今も、人々の生命や医療、経済に大きなダメージを与え続けており、科学が進歩した現在でも、感染症が大きな脅威であることを印象づけました。

感染症への知識が乏しかった江戸時代以前には、正体不明で明確な対処法もわからないため、その脅威は現在の比ではなかったと思われまふ。人々は感染症を恐れ、神仏に祈るとともに、それだけにとどまらず、病人に治療法を試し工夫しながら、なんとか危機を克服してきました。

杏雨書屋には、感染症関係を含む貴重で興味深い資料が豊富に所蔵されており、その範囲は、医学、薬学、公衆衛生学など、広い分野にわたっています。そこで今回の事態を機に、「流行り病(はやり病)」と呼ばれた各種の感染症に焦点を当て、新しい常設展示を企画しました。

人々が感染症に苦しみ、右往左往しながら乗り越えてきた歴史を、多くの書物や絵画でご覧いただき、現代人との違いや類似点を実感するとともに、それを通じて今回の「コロナ禍」も、かならず克服できるという希望を持っていただきたいと願っています。



「白沢図」
災厄を避ける方法を教えてくれた、中国の神獣「白沢(はくたく)」。



『安政箇労働流行記』

コレラの流行で茶屋(葬場)が混んでいる様子が描かれています。



「麻疹禁忌荒増」

麻疹の歴史、年数、経緯、禁忌、養生などについて記載されています。

公益財団法人 杏雨書屋

武田科学振興財団

きょううしょおく

館内では新型コロナウイルス感染症対策を実施しておりますので、ご協力をお願いいたします。

ホームページはこちら▶

<https://www.takeda-sci.or.jp/business/kyou.html>



武田薬品工業株式会社創業家の当主、五代武田長兵衛(和敬翁)は関東大震災(1923年)により貴重な典籍類が灰燼に帰したことを痛嘆し、日本・中国の本草書などの散逸を防ぐことが社会のために有意義であるとの思慮から、機会に応じて私財をもって購入し、後に「杏雨書屋」と呼ばれる文庫を形成しました。杏雨とは杏林(医学界)を潤す雨の意です。この事業は六代武田長兵衛にも引き継がれ、歳月と共にその内容はさらに充実したものとなりました。その後、これらの資料を広く公開し学術研究の利用に供することが学術振興に寄与するとの考えの元に、武田科学振興財団に寄贈されて1978年に図書資料館として開館しました。本草書や東洋医学書を中心に博物書、科学書、漢籍、仏典、典籍、古文書、洋本など、国宝3点・重要文化財14点を含む約4万点(15万冊)を所蔵します。



大阪市中央区道修町二丁目3-6

【開館時間】平日10時~16時

【休館日】土日祝日、その他当館の行事等に伴う臨時休館日

杏雨書屋の事業

- 閲覧・複写(研究者対象、要予約)、掲載申請対応。
- 常設展示(随時入替)、特別展示会及び研究講演会の開催(年2回)。
- 杏雨書屋蔵書の複製版や学術書、機関誌「杏雨」等の出版。
- 杏雨書屋研究助成…杏雨書屋所蔵の資料に関する研究に対する助成金の授与(毎年公募)。

第75回杏雨書屋特別展示会開催中【2023年4月17日~6月30日】 「医家の詩文と書画(その2)」

杏雨書屋の活動

展 示

■展示室開館時間
午前10時から午後4時まで

展示室には常時、蔵書や巻軸を解説付きで陳列し、来館者の参観に供しています。春と秋には特別企画の展示会を開いています。

閱 覧

■閲覧時間
午前9時から午後4時まで

図書閲覧を希望される方は、閲覧申請書に所定事項を入力して御申込み下さい。複写、写真撮影、掲載等はそれぞれの規則によっていただきます。

休 館 日

土曜日・日曜日・祝祭日・年末年始
その他当館の行事に伴う臨時休館日

刊 行

科学技術振興の一環として出版物を刊行しています。

〔刊行書〕

杏雨書屋蔵書目録	1982年
新修恭仁山荘善本書影	1985年
本草書の研究 渡辺幸三著	1987年
杏雨書屋図録	1998年
本草学研究 森鹿三著	1999年
新修本草卷十五獸禽部 (影印本)	2000年
宝要抄 (影印本)	2002年
備像食物本草 (影印本)	2003年
穀類抄 (影印本)	2004年
生薬・薬用植物語源集成 内林政夫著	2004年
未版 備急総効方 (影印本)	2005年3月
杏雨書屋洋書目録	2006年1月
杏雨書屋所蔵 書簡集I、II	2006、2009年
水谷本草I～IV (原色 翻字本)	2005～2008年
香字鈔 (影印本)	2007年3月
黄帝内经太素 (影印本)	2007年4月
香要抄I、II (影印本)	2008、2009年

杏雨書屋所蔵 医家肖像集、二編	2008、2018年
敦煌秘笈 目録冊～影片冊区(影印本)	2009～2013年
本草品彙精要I～VI (複製本)	2010～2012年
本草品彙精要 解説・目録・索引	2015年
薬種抄I、II (影印本)	2010、2011年
毛詩正義I～IV (複製本)	2011～2013年
宇田川榕菴植物学資料の研究	2014年3月
杏雨書屋「松木文庫」解説・目録	2014年3月
曲直瀬道三と近世日本医療社会	2015年10月
本草・薬物の研究 宮下三郎著	2016年1月
杏雨書屋蔵 礦砂版大蔵経目録 I～X	2017～2022年
杏雨書屋所蔵 病草紙模本集成	2017年3月
敦煌秘笈 景教經典四種	2020年9月
日本近世医学史論考I・II 町泉寿郎著	2022年3月
医聖像集	2022年3月
定期刊行物 紀要「杏雨」	1998年創刊



展示室

公益財団法人 武田科学振興財団

きょう う しょ おく
杏 雨 書 屋

電話 (06) 6233-6108

〒541-0045 大阪市中央区道修町二丁目3番6号

<https://www.takeda-sci.or.jp/>

MAP & アクセス

二松学舎大学 ◎ 九段1号館

- 地下鉄東西線・半蔵門線・都営新宿線「九段下」駅、2番出口より徒歩8分
- 地下鉄半蔵門線「半蔵門」駅、5番出口より徒歩10分
- JR中央線（総武線）、地下鉄有楽町線・東西線・南北線「飯田橋」駅、徒歩15分
- JR中央線（総武線）、地下鉄有楽町線・南北線、都営新宿線「市ヶ谷」駅、徒歩15分



明治10年の創設以来、多くの人々が学び、巣立っていった九段キャンパス。皇居・官公庁・数多くの文教施設が立ち並ぶ、東京の中心に位置しています。キャンパスのある千代田区三番町～九段界隈は、都心にありながらも、春には桜、秋にイチョウといった四季折々の自然を感じる事ができる、落ち着いた美しいたづまいを見せる街です。

現在の1号館（地上13階・地下3階）は平成16年に竣工しました。大教室・普通教室・書道教室・実演室・PC教室・附属図書館の他、中洲記念講堂、学生食堂・売店・レストランなどの施設も備えています。